

注力3領域の概要と方向性

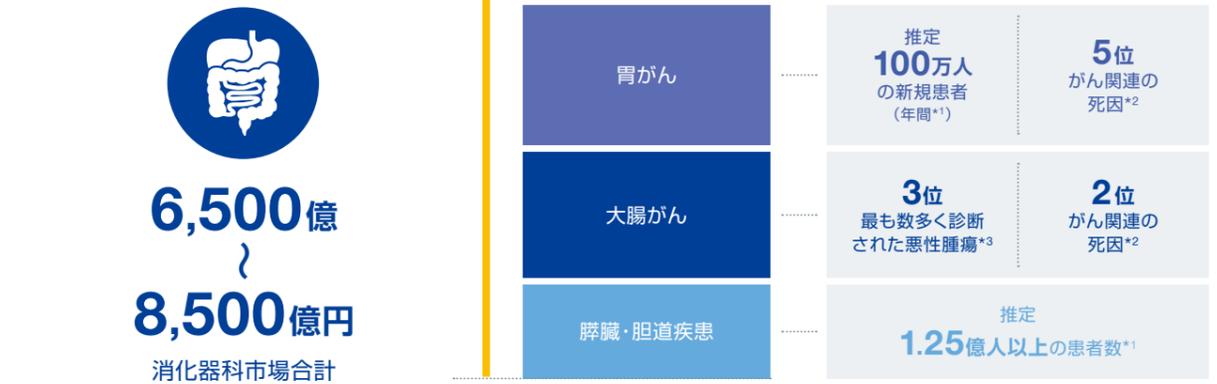
注力領域における当社のポジション



注:本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国(ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2024年7月31日時点のものです。成長率予測は、2024年3月期を起点とした、2025年3月期から2027年3月期までの予想です。他のページに掲載されている市場データについても同様です。内視鏡事業/治療機器事業内のサブセグメントの売上比率は2024年3月期の数値です。

消化器科

疾患別市場規模



消化器内視鏡



消化器科処置具

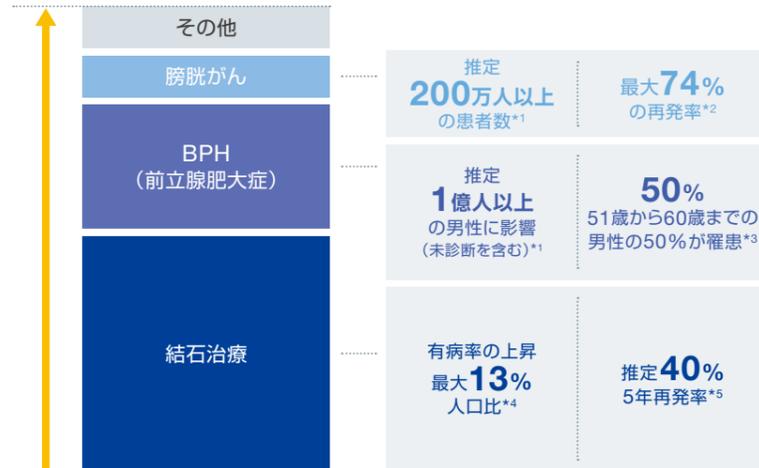
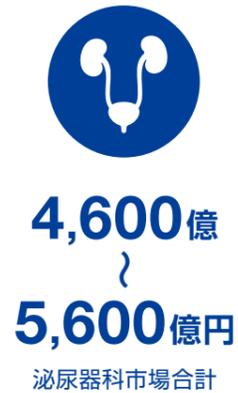


*1 出典: Epi Database®、Cernerに2024年7月にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2023年のデータ
 *2 出典: GLOBOCAN 2022
 *3 出典: GLOBOCAN 2020
 *4 市場規模や成長率、当社の市場シェアは、公開データや当社の調査によるもので、米国、ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、日本、中国に関するものです
 *5 公開データや当社の調査によるリユース内視鏡の市場シェア。米国、ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、日本、中国に関するものです
 *6 前世代のビデオプロセッサ (CV-190、CV-290)の販売台数
 *7 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

注力3領域の概要と方向性

泌尿器科

疾患別市場規模



上部尿路

市場規模
2,600億
3,200億円*⁶
5-7% CAGR

当社の注力
上部尿路 (腎臓、尿管)
・ 尿路結石症

主要な収益源

尿管鏡とHoYAGレーザーファイバー*¹²

成長ドライバー

SOLTIVE SuperPulsed Laser System*¹²

将来の成長ドライバー

シングルユース尿管鏡*¹²

成長につながる競争力

一桁台後半の年平均成長率*⁷
(2024年3月期~2026年3月期)

- リユース尿管鏡でトップシェア—シングルユース尿管鏡により、医師の選択肢を拡大
- レーザー/超音波結石破砕装置でシェア拡大
- ツリウムファイバーレーザー装置 (SOLTIVE SuperPulsed Laser System) とレーザーファイバーでトップシェアの確立

☑ Soltiveの製品ラインアップ拡大とシングルユース尿管鏡の導入により、長期的かつ持続的な成長を見込む

下部尿路

市場規模
2,000億
2,400億円*⁶
6-8% CAGR

当社の注力
下部尿路 (膀胱、前立腺)
・ 前立腺肥大症
・ 膀胱がん

主要な収益源

バイポーラレゼクト電極

成長ドライバー

PLASMA+システムジェネレーターおよび消耗品

将来の成長ドライバー

iTind*¹²
前立腺肥大症の低侵襲治療デバイス
15万件を超える治療件数
1桁後半の年平均成長率

成長につながる競争力

一桁台後半の年平均成長率*⁷
(2024年3月期~2026年3月期)

- 膀胱鏡、レゼクトスコープ、レゼクト電極で市場をリードする地位を強化
- 処置時間の短縮のために設計されたPLASMA+システムの提供
- 差別化された前立腺肥大症低侵襲治療デバイスによって優れた臨床成果を提供し保険適用を拡大し、医療水準の向上に貢献*⁸

☑ 市場をリードするPLASMA+システムと、前立腺肥大症の低侵襲治療デバイスにより、安定的な成長を実現

呼吸器科

疾患別市場規模



市場規模
1,200億
1,800億円*⁶
7-8% CAGR

当社の注力
・ 肺がん
・ 良性肺疾患 (COPD)

主要な収益源

EBUSスコープ

成長ドライバー

EBUS-TBNA*¹¹ 吸引生検針

将来の成長ドライバー

細径EBUSスコープ*¹²
To be unveiled

成長につながる競争力

一桁台半ばの年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

- EVIS X1気管支鏡と内視鏡用超音波観測装置EU-ME3を今後の成長ドライバーとして期待
- 気管支鏡検査および肺がんの診断とステージ分類において、患者さんのアウトカムを最適化する有意義な技術革新を提供することに尽力

☑ EVIS X1の新製品効果と臨床用途を広げるEBUS製品ポートフォリオの拡充により、持続的な成長を見込む

*1 出典: Epi Database®, Cernerに2024年7月にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2023年のデータ
 *2 出典: Recurrence of high-risk bladder cancer: A population-based analysis – Cancer. 2013 Sep 1; 119(17): 3219–3227.
 *3 出典: BPH: surgical management—Urology Care Foundation website. <https://www.urologyhealth.org>. Updated July 2013.
 *4 出典: Epidemiology of stone disease across the world – World J Urol. 2017 Sep;35(9):1301-1320. doi: 10.1007/s00345-017-2008-6.
 *5 出典: Recurrent Nephrolithiasis in Adults: A Comparative Effectiveness Review of Preventive Medical Strategies—Agency for Healthcare Research and Quality (www.effectivehealthcare.ahrq.gov), published online June 15, 2011.
 *6 市場規模や成長率、当社の市場シェアは、公開データや当社の調査によるもので、米国、ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、日本、中国に関するものです
 *7 オリンパスの治療機器事業の泌尿器科 (婦人科製品も含む)
 *8 iTindによる治療は、永久的インプラントが不要で、性機能や排尿機能が維持でき、術後のカテーテル留置の必要性も低減。外来治療にも対応
 *9 出典: GLOBOCAN 2022
 *10 出典: World Health Organization
 *11 Endobronchial ultrasound-guided transbronchial fine needle aspiration 超音波気管支鏡ガイド下針生検
 *12 医薬品医療機器等法承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております